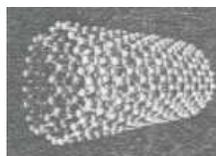
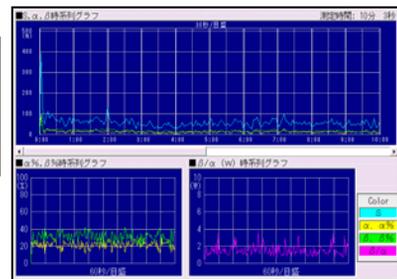


研究テーマ

☆ 新しい材料を用いた体外診断用医薬品や芳香療法の研究



・脳波と植物抽出香料を用いて、感性、身体の状態と香り配合との関係をα波/β波比率、1/fゆらぎなどの指標を用いて探索するアロマセラピーの研究をしています。



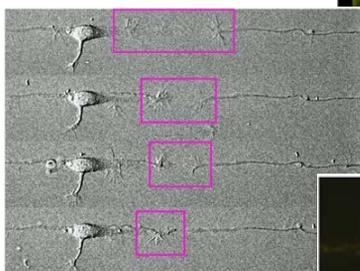
・カーボンナノチューブを材料として血液中の糖を測定し、糖尿病の予防に使用する体外診断用医薬品を研究しています。

☆ 細胞から組織モデルを創る→測る→解く → 細胞社会のルールとは？

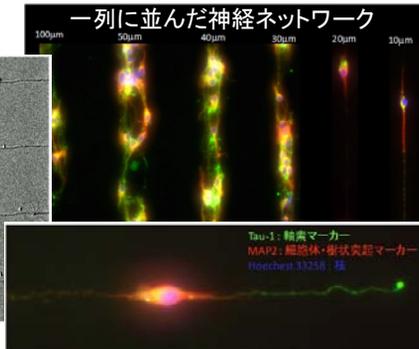
脳神経ネットワークを自在に組み立てる

細胞ネットワーク機能を測る

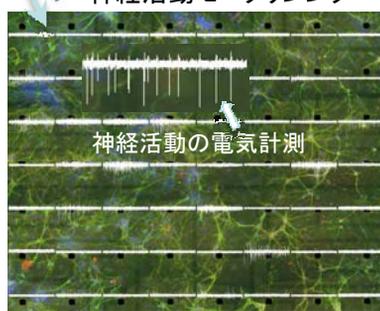
シナプス結合の瞬間



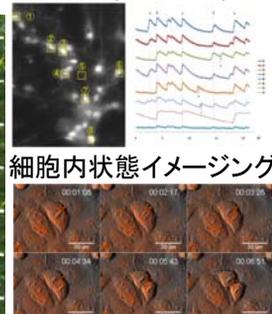
一列に並んだ神経ネットワーク



神経活動モニタリング



Ca²⁺イメージング



神経活動の電気計測

細胞内状態イメージング

➡ 神経疾患の細胞機能評価、薬剤評価技術などの医療分野へ応用

指導教員

教授 後藤正男

助教 鈴木郁郎

研究室メンバー

平均して修士4人、4年16人です。男女の割合は、約2:1です。就職先は医薬品、食品、環境、化粧品、公務員など、約70の企業、官公庁に幅広く就職しています。

高校生へのメッセージ

楽しく研究し、何かひとつ身につけて卒業するのが、研究室の方針です。興味があるひとは、いつでも研究室(片柳研究所棟・KW511)へ来てください。